

「ワーカーズアクション 2022」を開催！ アンコンシャス・バイアスを学ぶ！

11月18日（金）17時、川崎市立労働会館に135名が出席し「ワーカーズアクション2022」を開催しました。今回は『アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）を知ろう！』というテーマで、講師は人材開発コンサルタントの清家三佳子氏を迎えました。

「ワーカーズアクション」とは、コロナ禍で川崎地域連合のイベントが中止を余儀なくされる中、2020年、2021年の代替イベントとして開催してきましたが、2022年度よりウイズコロナ時代の運動を進めていく観点で、コロナ禍に対応できる様々なスタイルで多様性に富んだイベントを実行していく取り組みを「ワーカーズアクション」と呼ぶようにしました。

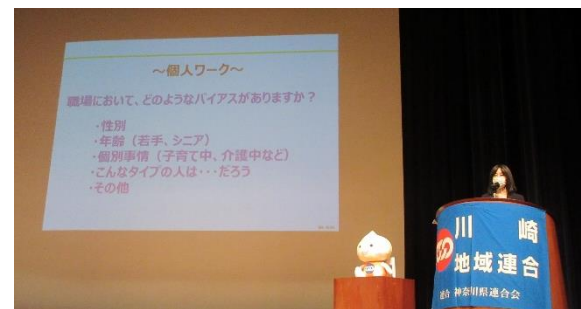


挨拶をする渡部議長

冒頭、渡部議長は「本日のセミナーのテーマを調べたところ、『人が無意識に偏見を抱いたり思い込みを持ったりすること。経験をとおして本人が気付かないうちに身に付けたもので、人の行動や意思を決定する際に影響を与える。』ということでした。組合や職場のリーダーとして、どういうところに気を配るべきかしっかり勉強したい。」と述べました。



清家先生は、ケーススタディを行いながら、グループワークを交えて具体的に自分がその立場でどのような判断をするのかを試すように講義を進め、理解を深めていきました。



最後に齊藤副議長（共働部会担当副議長）より「部下の可能性をより引き出すために性別、年齢などの属性ではなく、個人の資質や実績、意向を重視する価値基準を持つ必要があることを認識した」とまとめの挨拶をいただき閉会しました。

